

## ⑫ 公開特許公報(A)

昭63-123701

⑤Int.Cl.<sup>4</sup>

B 65 F 1/00

識別記号

庁内整理番号

Z-7214-3E

④公開 昭和63年(1988)5月27日

審査請求 未請求 発明の数 1 (全2頁)

⑭発明の名称 ゴミ自動バック収容器の自動セット用ゴミバック製造装置

⑯特 願 昭61-267036

⑰出 願 昭61(1986)11月10日

⑱発 明 者 太 田 博 康 静岡県浜松市瓜内町876-2

⑲出 願 人 太 田 博 康 静岡県浜松市瓜内町876-2

## 明 細 書

## 1. 発明の名称

ゴミ自動バック収容器の自動セット用ゴミバック製造装置

## 2. 特許請求の範囲

1 筒状のシートをピストンに受取り、専用ケースの上にかぶせたあと両側よりアームで圧縮する、アームの水平運動とピストンの垂直運動にて専用ケースにシートを蛇腹状に収納する、ゴミ自動バック収容器の自動セット用ゴミバック製造装置。

## 2 発明の詳細な説明

## (イ) 産業上の利用分野

この発明は、ゴミ自動バック収容器の自動セット用ゴミバック製造装置に関する。

## (ロ) 従来の技術

従来よりあるゴミバック(袋)は単品、又はトイレットペーパーのようにロール状になっておりゴミ自動バック収容器で連続して袋状に自動セッ

ト出来るものはなかった。

## (ハ) 発明が解決しようとする問題点

従来あるゴミバック(袋)では、ゴミ自動バック収容器で連続して袋状に自動セットするのには複雑な機械装置を用いて使用しなければならず、ゴミ自動バック収容器のゴミバック自動セット化が困難な状況にあった。

## (ニ) 問題を解決するための手段

この発明を図面にもとづいて説明すると、筒状のシート1をピストン2に受取り、下にセットした専用ケース4にかぶせたあと、左右両側よりアーム3にて圧縮する、専用ケース4は二つに割ってあり蓋の部分を書返しにセットする、ピストン2は専用ケース4より少し太くしてあるので、アーム3により圧縮されるとシート1は中に押される、この時ピストン2を上下運動をさせるとシート1は蛇腹状に圧縮される。この作業を繰り返す事により筒状のシートが専用ケースに収納でき、収納されたあと専用ケース5を取り付けシート1の底の部分を封じ作ることが出来る、ゴミ自動バ

パック収容器の自動セット用ゴミパック製造装置。

(ホ) 発明の効果

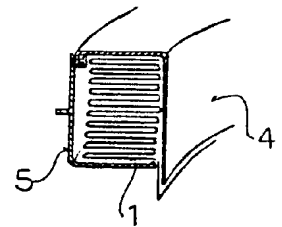
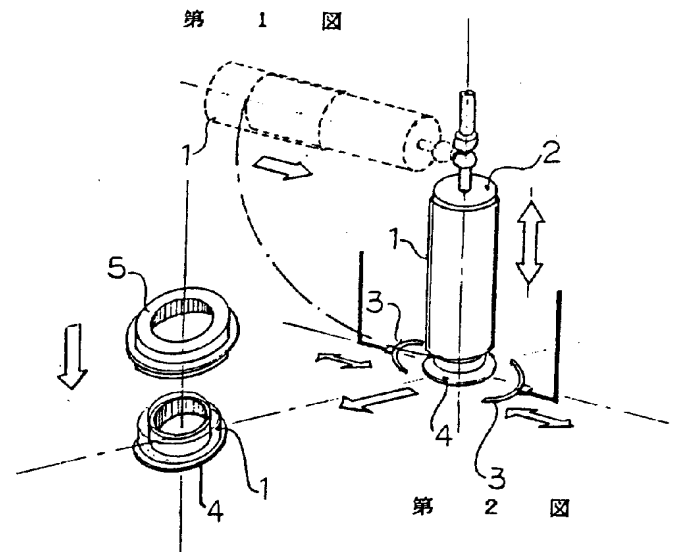
この発明は以上説明したように、ピストンの上下運動とアームの水平運動という作業だけで、筒状のシートを楕円形のケースにおさめる事ができ簡単にオートメーション化が出来るので、ゴミパックを安価にでき、ゴミ自動パック収容器のゴミパック自動セット化を促進する効果がある。

#### 4. 図面の簡単な説明

第1図はこの発明を施した参考斜視図。

第2図はこの発明を施した参考断面図。

- |             |            |
|-------------|------------|
| 1・・・シート、    | 2・・・ピストン、  |
| 3・・・アーム、    | 4・・・専用ケース蓋 |
| 5・・・専用ケース底、 |            |



特 許 出 願 人

太 田 博 康